

# まきは

## 「あなたは美しい」

「恋人よ、あなたは美しい。あなたは美しい、あなたの目は鳩。  
愛する人よ、あなたは美しく、美しい。私たちの寝床は緑の茂み。」

(雅歌 第1章15～16節・旧約聖書1036頁)

はじめに

雅歌は、箴言やコヘレトの言葉を著したとされるダビデの子、ソロモン王が、自らの経験に基づいて記したものだと言われています。男女の恋愛が主題になっていますが、当然、聖書66巻の中の一巻ですから、この書においても、聖書全体のテーマである「救い」を私たちに示していることは間違いありません。そうすると、ここからは男女の関係に象徴された、主イエス・キリストと私たちに関係を読み取っていくべきものであることがわかります。今回、私たちもこの書を通し、主が私たちに示してくださっている愛情を感じて行きたいと思います。

愛されない自分

人間は愛されることによって形成されます。生まれて、誰にも愛されずに育つ子どもは、その課程でさまざまな問題が生じていきます。心に決定的な欠落が生じ、健全に成長していけなくなるのです。また、家庭から独立し、社会に出たとしても、もしそこに少しの愛情もなく、憎しみやさげすみ、そして疎外感を味わっていくならば、毎日を過ごすことが困難になるほど、精神的に追い詰められてしまいます。

愛されていないことによって、多くの人たちが苦しんでいるのが現状であり、そうした私たちに聖書はこの雅歌を通してメッセージを語っているのです。

愛は冷える

実は、聖書は終末といわれているこの時代に起こってくる預言のひとつとして「多くの人の

愛が冷える」(マタイ 24:12)があります。主イエスが自ら語られた言葉ですが、これは人間同士もそうなのですが、神との愛情関係が冷えていくという預言です。この冷えるというギリシア語は「冷たい息」との意があり、神が人間を生かす時に鼻から吹き入れ入れたと書かれている「命の息」とは真逆の意味があります。つまり、神との命の関係に「隙間風」が吹き込む状況になっています。「あなたは初めの愛を離れてしまった」(黙示録 2:4)と指摘されている私たちは、何をすべきなのでしょう。それは「どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの行いをする」(2:5) ことなのです。

あなたは美しい

私たちは神が私たちが愛してくださっていることを知っています。だから救いを確信できたのではないですか。どこから落ちたのでしょうか。神は今もなお、私たちに語っておられます。「あなたは美しい」「あなたは美しい」。神の言葉は真実です。偽りはありません。

この雅歌には、植物動物図鑑を開いているようにさまざま草花、そして宝石や香料などが出てきますが、そのすべてがあなたへの愛情を表現するために用いられています。聖書の言葉は様々な方向から語られているわけで、そのすべてが私たちへの愛情に満ち溢れているのです。その声かけによって、心を満たされていきたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「恋人よ、あなたは美しい。  
あなたは美しい、あなたの

目は鳩。愛する人よ、あなたは美しく、美しい。  
私たちの寝床は緑の茂み。」(雅歌  
1:15～16)

「不法がはびこるので、多くの人の  
愛が冷える。しかし、最後まで耐え  
忍ぶ者は救われる。」(マタイによる  
福音書 24:12～13)

「しかし、あなたに言うべきことが  
ある。あなたは初めの愛を離れてし  
まった。それゆえ、あなたがどこから落ちたか  
を思い出し、悔い改めて、初めの行いをしなさい。  
悔い改めないなら、私はあなたのところへ



行って、あなたの燭台をその場所から取りのけ  
よう。」(ヨハネの黙示録 2:4～5)

神さま、私は孤独で、生活をしていても疎外  
感を感じてしまいます。また自分が  
この世の中に不必要な人間ではな  
いのかとってしまうこともあり  
ます。誰からも愛されていないよ  
うな自分を感じると落ち込んで、生き  
ていく力もなくなってしまいます。  
しかし、神さま、あなたはこのよ  
うな私でも愛していただき  
ているのです。それを忘れていました。どうか私  
の心を御言葉に愛で満たしてください。御名に  
よってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ！

### 箴言 (80) 第4章8節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「知恵を尊べ、それはあなたを高める。知恵を抱けば、それはあなたを重んじる。」

◎口語訳 「それを尊べ、そうすれば、それはあなたを高くあげる、もしそれをいだくならば、それはあなたを尊くする。」

◎新改訳 「それを尊べ。そうすれば、それはあなたを高めてくれる。それを抱きしめると、それはあなたに誉れを与える。」

「知恵がしてくれること」

聖書は一般書店にも置かれています。信仰者だけでなく、一般の方も購入されるからです。ただ、その理由は「人間性を高めるため」「よりよく生きるためになにかヒントがあれば」と言った位置づけであり、教養として手に取っている感があります。

私はいつも「聖書を教科書のように読んではいけません」と申し上げています。そのような姿勢で御言葉に接していくと、必ず「その通りにしていかなければならない」、「自分を高めなければならぬ」という、努力や節制を求められているように感じてしまうからです。ですから救いを求めて読んでいるのに、逆に苦しくなり、またそれをなし得ない自分に失望し、かえってつまづくこととなります。

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

聖書の言葉は私たちが救うために神から提示された約束です。私たちを変えることができる唯一の力です。それを信じる姿勢で読んでいくならば、努力なしで、それを得ることができる。だからこそ救いなのです。

ここで、知恵を受け入れるなら、知恵があなたを高める。それは内面の充実をもたらすだけでなく、対外的な誉れ、祝福をも得ることができると教えています。勉強して知恵を自分の努力で身につけようとしても高められない私たちですが、それを知恵が実現してくれるのです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

列王記下第15章5節「主が王を打たれたので、アザルヤは死ぬ日まで規定の病にかかり、離宮に住んだ。そのため、王の子ヨタムが宮廷長として国の民を治めた。」◆アザルヤ(ウジヤ)は神を求めたことで、大いに祝福された(歴代下26:5など)。しかし晩年は偶像礼拝を容認したことでそれを失った。隠居しせざるを得なくなった偉大な父に代わって国を治めなければならなかったヨタムは、無難に舵を取ったように思える。だが、「依然として高き所」はあったのだ。やるべきことはそこだったと思うのだが、彼は人を見てしまい、手が鈍ったのではないが。

●賛美 / 466 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。  
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

列王記下第16章10節「アハズ王は、アッシリアの王ティグラト・ピレセルに会うためにダマスコに行き、ダマスコにある祭壇を見た。アハズ王は、その祭壇の見取り図と全体の造り方を祭司ウリヤに送った。」◆わざわざダマスコに出張して、偶像の祭壇を見学し、図面を引いた王はこの人だけである。そして、なんと、それを祭司に送ったら、祭司も王が帰るまでにこの祭壇を作ってしまったというから開いた口が塞がらない。王に喜んでもらおうと思ったのだろう。神から心が離れた国はこうなるのだ。私たちは決して神以外のものに心を奪われてはならない。

●賛美 / 467 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

列王記下第17章40節「しかし、彼らは聞き従わず、ただ以前からのしきたりに従って行動するだけであった。」◆神の民たちは「大いなる力と伸ばした腕によって」エジプトの奴隷から解放された主を忘れ、その神を敬い、従うよりも、自分の思い通りにすることを好んだ。その結果、自分の都合を優先できる偶像に心ひかれてしまう。なんとという愚かさ、傲慢さであろう。その上、それを指摘されながら、それでもなお自分の意志を貫く強情な者だった。あなたは、強情ではないか。神からの祝福はあなたの姿勢次第である。

●賛美 / 468 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように  
◆宗教法人を取得できるように  
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

列王記下第18章30節「ヒゼキヤは、主が必ずや救い出し、この都がアッシリアの王の手に渡されることは決してない、と言って、主に頼らせようとするが、そうさせてはならない。」◆アッシリアが攻めてきた時、その指揮官ラブ・シャクは、陥落寸前のユダの民たちに、巧みな言葉で神信仰を疑わせた。「私たちは今までも諸国の神々に勝ってきた」「エジプトを頼っても無駄だ」「神に頼っていると云ったって、今、このような状態じゃないか」「王に欺かれるなよ。これはすべてサタンが用いる言葉である。その時こそ、信仰に堅く立て。御言葉を思い起こせ。

●賛美／469 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

列王記下第19章16節「主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて見てください。生ける神を罵るために送ってよこしたセンナケリブの言葉を聞いてください。」◆神への信仰を疑わせるような誘惑の言葉、また罵りを聞いた時、私たちは黙すべきである(18:36)。だが、神に対しては、自分の心を注ぎだして祈らなければならない。こんなことは神がご存じだと「良い子ぶって」黙する必要はない。確かに神はご存じだ。しかし、その神に訴えることが、私たちの信仰を表明することであることを忘れてはならない。そこに答えがもたらされるのだから。

●賛美／470 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

列王記下第20章19節「ヒゼキヤはイザヤに、「あなたが告げられた主の言葉はありがたい」と答えた。自分の在世中は平和と安定が続くと思ったからである。」◆ヒゼキヤは奇跡的にいやされた。その喜びを利用し、巧みにスパイ活動をしたのがバビロンだった。ヒゼキヤはゆるんだ心から失敗をした。だが、その失敗を認めず、逆に開き直った。老齢になったヒゼキヤは、「自分が生きているあいだに、大事がなければよいと思った」とある。こんな傲慢さがあってはならない。未来につながることを考えなければ、信仰だってまともに受け継がれていくはずがない。

●賛美／471 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王記下第21章9節「マナセが彼らを惑わせ、主がイスラエルの人々の前で滅ぼされた諸国民よりもさらに悪いことを行うようにしたからである。」◆マナセは、自分だけにとどまらず、その不信仰な行為を人々にも強要したことに大きな罪があった。過去にもないほどひどかったと記されている。「悪」とは、神を知っていながら、また、自分が信仰者であるような態度をしながら、神の前に従順でない者をいう。人を躰かせ、教会の中に分裂をもたらすような人がいるのだと、パウロは手紙に記している。気をつけたい。

●賛美／472 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 25:1～13】

「10にんの おとめ」

(マタイによるふくいんしよ 25:13)

イエスさまは「そのひ そのとき」をどのような きもちで むかえればいいのかを けっこんしきの たとえをつかって おはなしされました。「そのひ そのとき」とは、イエスさまが ふたたび おいでになり、わたしたちを むかえて、てんごくにつれていってくださる ひのことで、「さいりん」ともいいます。

イエスさまの じだいの けっこんしきは、よるにおこなわれていました。

まず はなむこの いえで おいわいをしてから、はなよめの いえに むかうのですが、とても おそくなってしまったようです。

はなよめのいえで おいわいをするひとはまっていなければなりません。ふつうはおそくなくてもいいように、ともしびを ともす あぶらを よういしているのですが、10にんのおんなのひののうち、5にんは だいじょ

うぶだと ゆだんして、あぶらを よういしていませんでした。

ところが、いつまでたっても、はなむこがとうちゃくしません。よるになりましたから、ひをともしたのですが、ねむってしまうくらい、またされました。そのうちに あぶらがなくなって、ともしびが きえそうになりました。

ひが きえたら、はなむこさんから こえをかけてもらえず、おいわいに いけなくなります。いそいで かいにいきました。ところが、そのあいだに なんと、はなむこさんが きてしまったのです。そして5にんは おいわいのかいにいくことができなくなってしまったのです。

イエスさまは こういいました。「そのひ、そのときは いつになるか わかりません。おそいとおもって、じゅんびをしていないと、てんごくにはいることができなくなってしまいます。だから、いつでも かみさまに ころをむけて、しんこうをもち、みことばを きいて めをさますようにして、かみさまをみつづけていきなさい。」

## ●かんがえてみよう

☆イエスさまの たとえはなしに でてくる おとめ はなんにんいましたか。(マタイ 25:1)

☆いつ、はなむこさんがきてもいいように、あぶらを じゅんびしていたひとは なんにんでしたか。(マタイ 25:2)

☆そのひ、そのときは いつくるか わかりません。イエスさまは わたしたちに このたとえによって、なんとおしえられましたか。(マタイ 25:13)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

かしこい  
おとめたち

	と							
め	し					ち		
				し		お		
し			た					
	い	め	と	か		た	し	お
	お	た	し		ち		か	と
お		か	ち	い	と			
た		い	か	こ		と	お	め
	こ	し				お	か	い

## ことばあそび

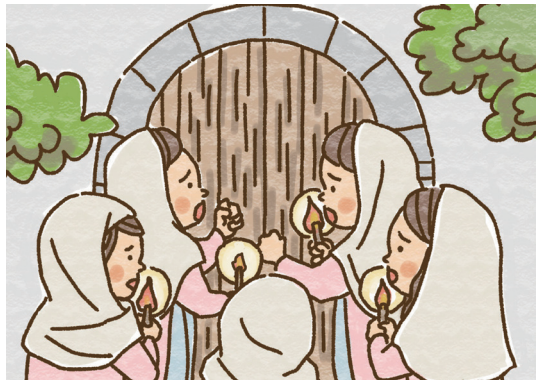
今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

（サムエル記下5章）

- ① ぶんぶんじの
- ② くえんしゅ
- ③ なかまよ
- ④ もしびと

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





## 牧師の 聖書 ななめ読み

「盆踊り」

今や盆踊りは日本だけのものではないようです。日系人の多いハワイならまだ想像しやすいのですが、アルゼンチンでは1万人以上が、そしてマレーシアではサッカースタジアムを会場に、5万人が参加する盆踊り大会が毎年開かれているそうです。ブラジルでは盆踊りが「マツリダンス」と呼ばれ、曲も今風の「のりがいい若者の『J ポップ』」が使われるなど、変化が生じているのですが、マレーシアでは「花笠音頭」「炭坑節」「ドラえもん音頭」など、

日本と変わらない形が保たれています。

当初、マレーシアの日本人学校のイベントだったようですが、どんどん参加者が増えていったのだそうです。ただ、その中で宗教論争が起こります。ご存じのようにマレーシアはイスラム教徒が6割。宗教指導者層から「盆踊りは宗教行事なので参加してはならない」とのお達しが出ます。ところが、盆踊りの「無心の一体感」に魅了された人々が、「盆踊りは日本においてすでに文化イベントになっている」と反論したのです。「宗教か文化か」。マレーシアのイスラム最高指導者が「文化である」と判断したことで、さらに盆踊りが注目され、今に至ったことでした。宗教行事と密接に関わっている盆踊りもあるので、参加する際は注意してください。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●アルノン川

国境だけでなく、さまざまな「境」が存在します。その際、誰もがわかるように、山や川を使って境を決めることが多いようです。先回取り上げたヘルモン山もそうでしたが、アルノン川も境として聖書に登場します。

現在のヨルダン王国にあり、南北に流れて死海の東岸に注ぎ、深い峡谷を形成しています。峡谷の高さは400mから深い所では900mもあり、「アルノン川はモアブとアモリ人との間にあって、モアブの境をなしていた」（民数記21:13）とあるように、モアブとの南北国境線になっていました。

イスラエルが荒れ野を進み、モアブの地の北側を通過しようとしたのですが、アモリ人の王シホンはこれを拒絶。結局イスラエルに滅ぼされてしまいます。その時に境として示されたのがアルノン川でした。イスラエルは「アルノン川からヤボク川に至る地を手に入れた」のでした（民数記21:24）。この地ガルベンとガドの相続地にあてがわれます（申命記3:12）。

その後もアルノン川は「神が与えた境界」として描かれていますが、過去の出来事を踏まえ、アルノンの渓谷が神の勝利を象徴する場所として覚えられていたことも重要です。

## ななめ聖書 先週のこたえ

さ	で	い	く	だ	わ	あ	ん	れ
わ	ん	だ	れ	あ	で	く	さ	い
れ	あ	く	ん	い	さ	だ	で	わ
い	く	で	わ	れ	ん	さ	だ	あ
だ	れ	あ	で	さ	い	ん	わ	く
ん	わ	さ	あ	く	だ	い	れ	で
あ	さ	れ	だ	わ	く	で	い	ん
で	い	わ	さん	あ	れ	く	だ	
く	だ	ん	い	で	れ	わ	あ	さ

- ①へりくだるもの
- ②ちょうぜいにん
- ③こころのなか
- ④だんじき



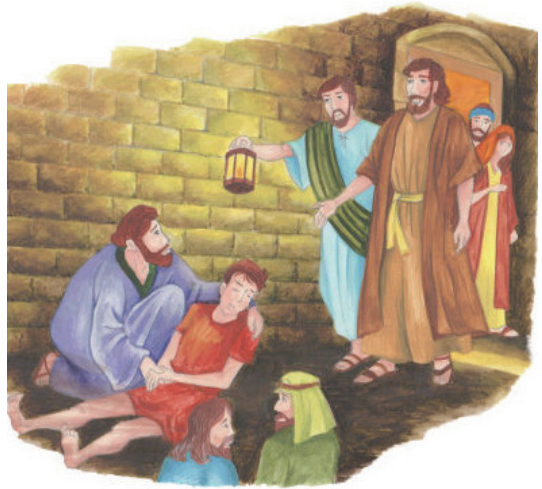
## マケドニアからトロアスへ

週の初めの日、私たちがパンを裂くために集まっていると、パウロは翌日出発する予定で人々に話をしたが、その話は夜中まで続いた。

私たちが集まっていた階上の部屋には、たくさんの灯がついていた。エウティコと言う青年が、窓に腰を掛けていたが、パウロの話が長々と続いたので、ひどく眠気を催し、眠りこけて三階から下に落ちてしまった。起こしてみると、もう死んでいた。

パウロは降りて行き、彼の上にかがみ込み、抱きかかえて言った。「騒がなくてよい。まだ生きている。」そして、また上に行って、パンを裂いて食べ、夜明けまで長い間話し続けてから出発した。人々は生き返った若者を連れて帰り、大いに慰められた。

(使徒言行録20:7～12)



落下したエウティコ

## 【3階建ての家】

トロアスで除酵祭を迎えたパウロは、信徒の家の3階で聖餐式を行います。

当時でも、3階建ての家は珍しいのですが、トロアスという町から想像し、恐らく貿易商の裕福な信徒が所有していたと思われます。町が発展する中、土地も限られていたからなのですが、ローマの支配下になって、その建築技術が多層階の家を可能にしています。石やレンガを用い、1階は店舗、事務所、もしくは倉庫として使用し、2階は住居、そして3階は梁などの数も少なくできるので、大きな空間が取れていたのでしょう。そこでたびたび集まりを持っていたはずです。「家の教会」です。フィリピではリディアの家がそうでした(使徒16:15、40)。パウロの同労者プリスカとアキラの家も教会になっていました(ローマ16:3～5)。フィレモンもそうです(フィレモン1:2)。パウロが伝道していく中で、有力な信徒の家が伝道の拠点として用いられていたのです。

## 【エウティコの蘇生】

パウロが翌日移動するというので、その別れを惜むように集会は夜中まで続きました。「たくさんの灯がついていた」とあるので、かなりの人たちが集まっていたことがわかります。ギリシア語で携帯用のランプを示す語が使われているので、各自が自分のために持ってきたその灯でした。

ご存じのように、ランプの油はオリーブ油です。賢いおとめのように油を用意して、延々と集まりを続けていけば、どうなるのか。「酸素不足」です。いくら窓を開けていても、換気に気をつけていなければならないのですが、そのことが大変な出来事を招いてしまうわけです。

ここからは私の想像です。

エウティコはトロアスの港で、日々真面目に働いている青年です。港湾労働者なので、朝から晩まで重たい荷物を継ぎながら、布や木材などの積み込み作業に明け暮れていました。そんな彼の慰めは信仰でした。いつものトロアスの家の教会に集い、恵みをいただき、支えられていました。ある朝、「今日はパウロ先生が来ていて、その先生が司式して聖餐式が行われる」と聞き、楽しみにしていたのですが、なかなか仕事が終わらず、教会に着いた時には座る所がありません。見渡すと窓辺に腰掛けている友人がおり、自分もと同じように窓に座ることにしました。

窓辺でありながら息苦しいほどの熱気が伝わってきますが、いかんせん、「弱々しく話す」パウロの話が長いこと。しばらくするうちに、その日の疲れもあって目が重くなり、いつの間にかこっくりこっくり居眠りをしてははっとすることを繰り返していました。と、次の瞬間、うしろからひっくり返り、転落してしまったのです。「あ、落ちた！」誰かが叫び、会場は騒然となりました。しかし騒ぎに気付いたパウロは、慌てず騒がず、エウティコのもとに下りていきました。

というようなイメージです。どうでしょうか。

「もう死んでいた」とあるのに、パウロは「まだ生きている」と言っています。パウロ自身、死んでいるような状態からむっくりと立ち上がり、次の伝道地に行っていることから、神の憐れみによる癒しを疑っていなかったのです。「若者を連れ帰り」とあるので、まだ回復が必要だったかもしれませんが、目の当たりにした人たちは、神の奇跡に「大いに慰められた」のでした。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

